

# 令和6年第4回長泉町議会定例会 一般質問予定者一覧

令和6年11月28日(木)午前10時開議

日程第1. 一般質問

質問順位1 内田 幸英 議員

## 質 問 内 容

### 1. 更なる児童・母子・父子・生活困窮等への福祉支援の向上を

(1) 町内のひとり親の各種状況、その対策と支援策は。

- ①町内のひとり親のうち、母子と父子の世帯数や傾向を伺う。
- ②父や母、祖父や祖母、親戚等と離れて暮らすひとり親が働くためには、保育所の預かり時間や預かり形態等の状況が気になるが、公立保育所ではこの点は特に問題はないか。ひとり親の方が目指す保育所に入れているのか、希望調査等はしっかりとされているのか、選考基準等の状況を伺う。
- ③町が行っている各種支援策のうち、ひとり親を対象とした支援はどのようなものがあるか伺う。
- ④親を亡くした子どもの場合は会いたくても会えず、離別となった子どもよりも不利益が生じていると考えられる。状況に応じて死別のひとり親等への各種手当の拡充や支援を手厚くすべきと提案するが見解を伺う。
- ⑤町としてひとり親の生活実態を具体的にどのように把握しているか、また今後もひとり親を対象とした支援は必要性があるのか見解を伺う。

(2) ひとり親等や生活困窮世帯への新たな支援の充実を。

- ①ひとり親等をはじめとする、生活困窮世帯における親や子どもの貧困の実態と対策を伺うとともに、それらの支援を民間に任せるだけでなく、町としてどのように支援していくべきか見解を伺う。
- ②更なる子育てに優しい町「長泉町」として、町独自で新たなひとり親等や生活困窮世帯への支援策の検討はないか伺う。
- ③ひとり親世帯の住宅手当支給や家賃補助制度が設けられている自治体もあるが、当町は地価が高くファミリー向けの賃貸物件の家賃が高い傾向だが、住宅手当の支給もしくは家賃補助を行い、居住支援をすべきと提案するが見解を伺う。
- ④仕事で忙しく、なかなか子どもをレジャー施設等へ遊びに連れて行けない世帯等への外出支援として、お出かけが難しい親に変わってレジャー施設等への外出をサポートする機会を創出するとともに、学校以外での体験活動の格差を減少すべきと提案するが見解を伺う。
- ⑤町の指定したレジャー施設を無料または低額で利用できるよう、日帰りもしくは宿泊での外出支援を行い。お出かけが難しい世帯等でも親子そろってレジャーを楽しむ機会を創出し、学校以外での体験活動の格差を減少すべきと提案するが見解を伺う。

### 2. デジタル社会に応じた住民目線での行政サービスの充実を

(1) 河川情報や上下水道台帳の ICT 化や DX 化の推進を。

- ①国や県管理の河川をはじめ、主要な普通河川や準用河川において、いつも頻繁に氾濫する箇所数を伺うとともに、現在行っているその個所への安全対策を伺う。
- ②国や県管理の河川名は知っているが、主要な普通河川や準用河川の場合は河川名が分からず有事の際の連絡に困ることがあると考えられる。氾濫が懸念される主要な普通河川や準用河川の危険箇所付近に、河川名を記載した看板の設置をすべきと提案するが見解を伺う。
- ③長泉町役場気象システムの更なる水 DX(ウォーターDX)対策として、氾濫が懸念される危険箇所付近に簡易型河川監視カメラを設置し安全対策を強化するとともに、河川水位の画像情報を個別で確認しやすく閲覧できるようにし情報発信に努めるべきと提案するが見解を伺う。
- ④ニコニコまち NAVI ながいずみサイト内にて、上下水道台帳を WEB 上で公開し、役場へ来庁しなくても閲覧できるよう、情報発信の充実と利便性の向上をすべきと提案するが見解を伺う。

(2) 福祉情報の ICT 化や DX 化の推進を。

- ① 町内の公共施設と駐車場等や道路へのバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に向け、特段に配慮した箇所やその理由を伺うとともに、今後の町内各種各所へのバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進に向けた整備目標を伺う。
- ② 長泉町においてもバリアフリーマスタープランを策定し、高齢者や障害者等、ベビーカーを使用する子育て世帯等への移動等円滑化に向け、更なる面的整備の促進に努め、全ての人に配慮した更なる優しいまちづくりをすべきと提案するが見解を伺う。
- ③ ニコニコまち NAVI ながいずみサイト内にて、トイレ情報・フロア移動情報・出入口情報・駐車場情報・車椅子入店可情報など。長泉町内のバリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮情報を WEB 上で公開閲覧できるようにし、各種配慮状況や情報発信の充実、利便性の向上による全ての人に優しい移動支援をすべきと提案するが見解を伺う。

質 問 内 容

1. 気候変動による小規模河川の氾濫

(1) 災害を防ぐ森林保全が重要なことから、今年度4月から森林環境譲与税の使途を伺う。

(2) 今年、大雨による警報が出た日数と雨量は。

(3) 溢水により被害を受けている河川の管理状況と改修計画は。

(4) 河川が改修されるまで溢水を防ぐ止水板の貸与など町は対策を。

2. 公共交通の課題

(1) オンデマンド交通実験の利用状況は。

(2) オンデマンド交通実験の課題と今後は。

(3) マイナンバーカードのタクシー利用助成の問題点。

## 質 問 内 容

## 1. 備えあれば憂い少なし

## (1) 問題を抱える当事者や家族の支援のために

- ①アルコール、薬物、ギャンブルなどの依存症問題に苦しむ当事者やその家族を支援するために、本町として考えていることは何か。
- ②女性支援新法（正式名称：「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」）が、令和6年4月1日から施行された。生活困窮、DVやストーカーなどの相談対応、支援について伺う。

## (2) 障害者手帳等の申請・更新時に必要な診断書取得費用の助成について

- ①各種障害者手帳や自立支援医療の申請・更新時には医師の診断書が必要であるが、費用の負担が大きいとの声がある。他自治体では診断書取得に必要な費用に対し助成制度を設けている例もある。本町でも助成制度を設けないか。
- ②聴覚障害者に対する支援について
- ア 高齢者で耳が聞こえにくいと、窓口で会話をする時にどうしても職員が大きな声を出してしまう。周りの人に内容が分かってしまう、個人情報保護の面でも、周りに聞こえてしまうと大きな問題につながることもある。イヤホンを入らず、球体のイヤホンを軽く耳にかけるだけで、音ははっきり聞こえる「軟骨伝導イヤホン」を導入してはどうか。
- ③聴覚障害者への支援の拡充について
- ア 聴覚障害者に対する国の「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」（障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する法律）、また、本町の「手話言語条例」等の支援に係る取組の現状は。
- イ 日常生活で活用する遠隔手話通訳について  
タクシーや美容院、買物先など、様々な場所でも利用できる遠隔手話通訳があれば、大変助かると聞く。スマホで導入できないか、町の見解を伺う。

## (3) 災害対策に関連して

## ①災害用自動販売機について

大規模災害などの発生時、無償で製品を提供できる自動販売機がある。災害支援協定を結んだ自治体への災害救援自販機の設置や、災害時の商品供給を行っている。

ア 現在の災害用自動販売機の設置状況はどのようなものか。

イ 町の管理施設への設置や民間事業所への設置の啓発など、災害用自動販売機の推進についての考えは。

## ②登下校時の地震発生に関して

ア 町内全ての小中学校の危機管理マニュアルは、登下校時の地震発生を想定しているか。

イ 日頃の防災訓練は登下校中の災害発生を想定した内容を取り入れているか。

ウ 学校、家庭だけの取組とせず、日頃から見守り活動等を行う地域団体に協力を仰ぎ、防災教室や通学路の危険箇所の確認・点検の意味をこどもたち自身が自覚する教育が必要ではないか。

エ 東日本大震災の津波で犠牲になった宮城県石巻市立大川小学校の損害賠償訴訟では、事前防災の不備は行政の責任とする司法判断が下された。学校現場の防災責任が改めてクローズアップされる中で、さらに踏み込んだ防災教育が必要と考えるが如何か。

## ③木造住宅耐震化プロジェクト

県の木造住宅耐震化プロジェクト「TOUKAI-0」は、令和3年度末までに、専門家による無料の耐震診断は87,784件、耐震補強工事に対する補助は25,178件（県独自調査によると補助件数は全国で第一位の実績）に達し、着実な進捗が図られている。令和7年度が最終年度とされている。

ア 長泉町耐震改修促進計画の第3次期間になっているが、耐震化率の現在の状況、令和7年度の目標を伺う。

イ 「わが家の専門家診断」事業は今年度で終了になるが、診断を受けた件数と今後の取組は。

ウ 「TOUKAI-0」総合支援事業としてのブロック塀等の安全確保事業費補助金制度について、危険なブロック塀の把握とブロック塀の耐震改修をどのように推進しているのか伺う。

④要配慮者の避難について

ア 個別避難計画の進捗状況はどうなっているか。

イ 総合計画には自主防災組織、民生児童委員等との連携をベースとした要配慮者支援対策の強化となっているが、どう強化して支援するのか伺う。

質 問 内 容

1. 住民の安全・安心は守れるのか

(1) 被災者の一時避難所となる、地域の公民館の整備充実を。

(2) 被災者の「命を守る」携帯トイレの備蓄増が重要。

(3) “ふるさと納税”に対する町の向き合い方は。

質 問 内 容

1. ボランティア活動の促進で町の活性化を

(1) 超高齢化社会到来を見据えた取り組みを。

①生活支援体制整備事業の現状と今後の計画は。

②介護現場の人手不足の中で、生活支援有償ボランティアの介護現場参画が重要で、入職のきっかけになると考えるが、現状とマッチング体制の構築に対する町の考えは。また、移動支援ボランティアの現状と今後の発展計画は。

③民生委員児童委員と生活支援体制整備事業の関わりと、町が考える連携体制、今後の計画は。

④「地域共生社会の実現」「介護人材の安定的な確保」「災害に強い福祉のまちづくり」3つの課題や現状を踏まえ、県より民生委員75歳以上も再任要件独自撤廃を受け、元気であれば年齢は関係ないと考えているが町の見解は。

⑤民生委員を安心して引き受けることが可能となり、負担軽減につながることを目的に「条例の改正」「活動の見直し」「体制や仕組みづくりの支援」を。

⑥民生委員のサポーター制度に対しての町の現状と今後の計画は。

(2) ボランティア活動のサポート体制を。

①学生から高齢者まで気軽に相談できるボランティア活動の相談窓口は。現状の相談状況と、今後の見通しや計画は。

②令和3年度「地域福祉活動計画策定に伴う関係団体意向把握のための調査」【「支え合う地域づくり」を推進していくために必要だと思われること】アンケート結果60.4%が活動の担い手の人材育成と回答している。様々なボランティア活動をサポートする中で、町が取り組んでいる「担い手人材育成」を目的とした研修、講座の状況と、今後の計画は。

③ボランティア連絡会の現状と、他市町との交流や連携状況は。

④公民館の有効活用を目的とし、より柔軟にまちづくりが展開できるよう全国の中では公民館という枠組みを外し、コミュニティセンターとする動きもある。地域づくり、人づくりの中心となる活動を行う場としてボランティアが活用できる「総合的な地域づくりの拠点」に。また、ボランティアが活動しやすいための公共施設、コミュニティスペースの拡充を。

⑤ボランティア活動に対する中間支援団体の立ち上げや新たなプロジェクトによる活動支援の状況は。

⑥現在ボランティア活動の情報提供を「社協だより」やホームページを中心に周知していると認識している。活動促進を図るため、町内外へさらなる情報発信を。

⑦全国では、厚労省老健局が進めているボランティアポイント制度の導入・運用を展開している事例がある。マイナンバーカードを利用した事例もあるが、DXを活用した健康ポイントを含めたボランティアポイントデジタル化サービス事業の構築を。

質 問 内 容

1. 未来を見据えた事業展開はどこまで

第5次長泉町総合計画、進捗状況・課題・対策、後期計画について

(1) 第5次長泉町総合計画(2021~2030)中間通過年を迎え民間を加えた審議会の内容は。

(2)

①政策6 快適で便利な町の実現、施策13 都市基盤の整備、生活道路の整備について。

ア 進捗状況は、見えた課題と対応、後期計画は。

イ 道路整備完成と、延長はどこまで目指すのか、予想されるまち負担の事業費は。

②政策6 施策15 緑の豊かさを感じる地域づくり、暮らしやすい住み続けたい住環境づくりについて。

ア 進捗状況、見えた課題と対応、後期計画は。

イ 下土狩駅前整備完成間近、緑化、シェルター、太陽光パネル、進行方向誘導サインは。

③政策6 施策14 利便性の高い公共交通について

ア 進捗状況、見えた課題と対応、後期計画は。

イ 相乗りワゴン車「スパイスBOX」実現性と事業費、従来のコミバスからの変換は。

④政策6 施策16 持続可能な生活環境の推進について。

ア 新たなごみ焼却施設、水道老朽化耐震、下水道の耐震の進捗状況、見えた課題と対応、後期計画は。

イ まち負担の事業費の予想は。

⑤政策8 施策18 災害に強いインフラ整備、後期計画について。

ア 地震対策と、河川水路道路公園など。

イ 治水対策の防災機能の強化の進捗状況、見えた課題と対応は。

ウ 記録的短時間大雨(11月2日)での道路冠水、床上床下浸水、の被害状況の把握と今後への対応は。側溝、小川への対応は急務では。予想される事業費は。

エ 可搬ポンプ等今後の自主防への期待は。

⑥政策8 施策19 防犯対策、交通安全について。

ア 進捗状況、見えた課題と対応、後期計画は。

イ 闇バイト強盗多発、啓発など対応は。道路分岐点などに防犯カメラ増設は。

ウ 交差点信号歩車分離、信号時間の優先規定は。(池田終線)

エ 御殿場線踏切時間短縮要望を。

⑦政策3 政策7 教育環境の充実、学校施設改築。

ア 進捗状況、見えた課題と対応、後期計画は。

イ 園児児童生徒数の推移、こども園、小中一貫校などの建て替え構想は。

ウ まち負担の事業費の予想は。

エ 長泉幼稚園中央保育園耐震改修での有効活用は。

オ 誰でも通園制度への見解は。

⑧政策2 施策4 高齢者福祉について。

2050年単身世帯が40%超静岡では37.7%、65歳以上が一人で暮らす割合は1.92%。

ア 長寿健康社会の構築、地域包括の充実など進捗状況、見えた課題と対応、後期計画は。

イ 町営老人ホーム(長幼、中央保育の活用)介護人材育成は。

ウ 無縁遺骨の対応状況、独居終活相談、夫婦だけ世帯終活相談、社協で終活基金は。

エ 介護保険と医療介護保険適用の訪問介護での過剰な診療報酬、不正請求の状況と把握、対応は。

⑨政策5 施策12 交流を生み出す観光について。

ア 進捗状況、見えた課題と対応、後期計画は。

イ 指定管理運営で、施設整備、設備の修理、改修などの負担条件(町か管理者か)と利益還元への見解は。

ウ イベント(わくわく祭りなど)企業個人の寄付への感謝の対応は。

⑩9の政策について進捗を伺い予想される事業費も膨大、少子化高齢化に向かっていく財源と維持事業費は反比例していくが見解は。

質 問 内 容

1. 10月27日投開票衆議院選挙について伺う

(1) 衆議院選挙について。

- ①町内で投票所入場券の配布に遅延は無かったか伺う。
- ②各投票所の投票率と、年代別の投票率を伺う。
- ③未来人定住応援事業等の補助を受ける若者の投票率を伺う。
- ④投票済証明書の配布数を伺う。また町内で選挙割を実施した店舗があったか伺う。
- ⑤投票所の雰囲気は緊張するもの。投票所にBGMを流し、投票コンシェルジュの配置など、無効票を減らす取り組みや、投票しやすい環境整備を要望する。
- ⑥投票率向上に向け投票のためのタクシー無料券の配布や、移動投票所、商業施設等投票所の増設を要望する。

2. 不登校児童生徒について伺う。

(1) バーチャルスクールの可能性について伺う。

- ①学年別不登校児童生徒数を伺う。
- ②本年開設した教育支援センターの利用状況と今後の課題を伺う。
- ③県教育委員会は、公立学校に通う県内在住の不登校児童・生徒（2022年度は約9,400人）に向けて、市町教育支援センターやフリースクール関係者等が家庭等から参加できるバーチャルスクールの構築し運用を開始する。町内関係者の参加があるのか。また町独自でバーチャルスクールを開設する可能性について伺う。
- ④いじめや犯罪に巻き込まれそうなときに周りに助けを求めるハンドサイン、シグナル・フォー・ヘルプ（ヘルプサイン）の周知啓発を要望する。